

ふすま、紙クロス、機能性クロス（撥水加工や高級クロス）など是对应しておりません

## ビニール壁紙専用塗装

Xpaint教室は、仕上がりを保証するものではありません。そのため、施工に関しては、一切の責任を負いかねます。施工箇所の状態、施工の仕方により、仕上がりに違いもございます。施工はお客様の責任の元ご使用くださいます様よろしくお願い申し上げます。

# Xpaint教室

### 準備するもの

- ・ トランスフォーム
- ・ 塗料（香）
- ・ 職人技
- ・ 養生（必要な場合）
- ・ 濡れたタオル
- ・ 脚立もしくは踏み台

### 大切なお客様へ

この度は、Xpaintをご購入いただきまして、誠にありがとうございました！弊社商品は、一つ一つ手作業で製作しております。そのため個体差や多少の歪み等がございます。また職人技に関しては製作中に、刷毛部分のノリのはみ出しのような部分が多々ございますが、どうしてもできてしまう問題点でございます。改善すべく、日々研究、追求、努力を行っておりますが、現在はこのような形でのお届けとなってしまいます。皆様のご理解をいただきたく、心よりお願い申し上げます。ただし、施工には全く問題なく、ご使用いただけますので、ご安心下さいませ。



# 01 汚れチェック・部分塗り

## 【項目】

- ①ほこりは、タオルで拭き取る
- ②養生が必要な場所はする（**アクセントカラーを塗る場合、枠だけマスキングテープ推奨**）
- ④刷毛を塗料に馴染ませる
- ③カビ、汚れが気になる場所があれば、部分塗りする



## 詳細

②ソフト巾木や畳、カーペットなど、液垂れが心配な場所は、養生をする。またアクセントカラーで塗る場合は、施工面の枠全体だけマスキングテープを推奨します

③時計やポスター跡など、壁紙の汚れが部分的に目立つ場所は、その部分だけ1度塗っておく。ムラにならない様にしっかりぼかしておく！壁紙に馴染ませるように伸ばす※濃いカラーの場合は、汚れも隠れるので、部分塗りしなくてもよい

# 02 施工手順と職人技

## 【項目】

- ①天壁両方施工の場合は、天井→壁面の順番に塗る  
壁面の場合には  
壁上→床面へ
- ②職人技を使用して枠を塗る
- ③トランスフォームを使い  
全対を塗る

■香（塗料）は、使用前に必ずよく振ってから使うこと。（分離してるため）



↑↑天井、壁一面の施工方法は、左右好きな側より、壁上→床方向（天井は右→左）へ塗っていく



## 詳細

①天井施工の際は、照明跡があれば、先に塗っておく。  
端から全体に塗っていく

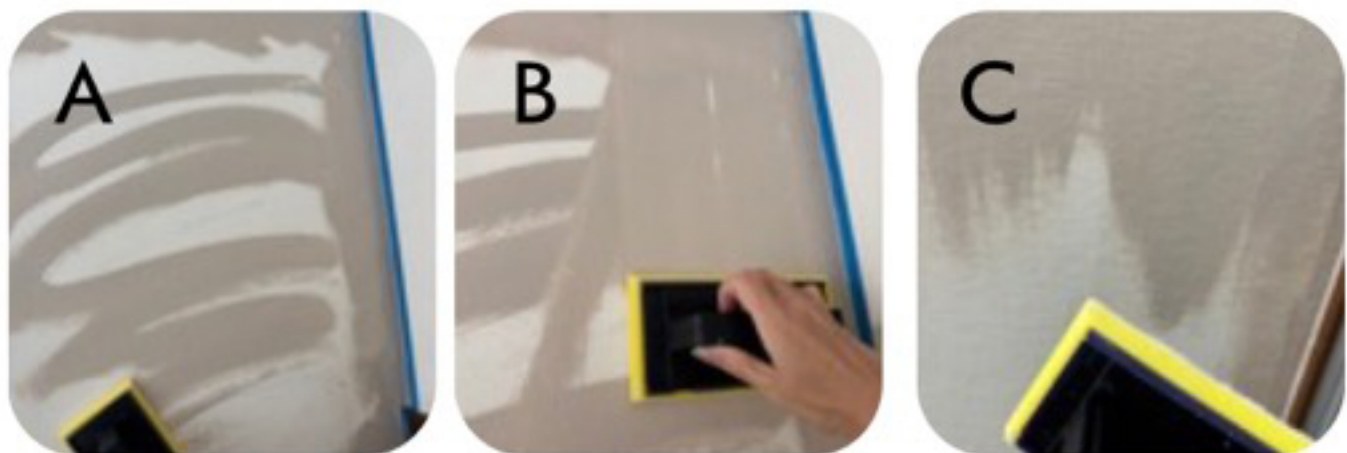
②塗料を刷毛の上に直にのせる。  
コンセントプレートや窓やドア枠、巾木の周りを塗る。状況や用途に応じて、職人技の使用面を（別紙参照）変えて使う。刷毛のラインが残らないようにしっかり周りへぼかす  
万が一、塗料が付いた場合は、濡れたタオル等で、都度、拭き取る



# 03 トランスフォーム

## 使用前

## 刷毛に塗料を馴染ませる



## 塗り方

施工面の左右好きな方から塗り始める

写真A→Cの手順

トランスフォームの上に、直に塗料を乗せる

【A】手が届く範囲にザックリ塗料をつけて伸ばす（窓拭きする感覚と同じ。塗布面積は約1平米程度）塗料が壁紙につくように、刷毛全面をしっかりと押し当て、動かす（塗料を付けすぎると、液垂れの原因になるので注意）

【B】付けた塗料を、全体に満遍なく塗り伸ばしていく。塗り残しがないように全体に伸ばす。塗料が足りなければ、少しずつ付け足す。「香」の塗料はとても伸びがいいので、適度な力を入れてしっかりと伸ばす

【C】塗り残しがないよう、全体に塗料をつけたら、塗料がムラにならないように、塗料のつなぎ目部分を、しっかりとボカしておく

端から端まで、A~Cを繰り返し壁一面ずつ仕上げていく！

【アクセントカラーの場合は、1度塗りが終わり乾燥したら、全体を2回塗りし仕上げる】

# 04 確認とポイント

■全体にムラがないか、塗料の付着がないか確認する  
※ムラがあれば、部分塗りをします

■塗ってる途中で、少し離れて全体を見ると、塗り残しやムラに気づけます

■施工中、徐々に乾いてきます。その際にムラに見えますが、乾いたら馴染んでムラが消えます。触らずに乾くまで待ちましょう。それでもムラであれば、その個所だけ塗料少なめに手直ししてください。キレイに仕上がります

■施工中と施工後は色が変わります

■ボトルが倒れると塗料が漏れるので、注意してください

## 施工中



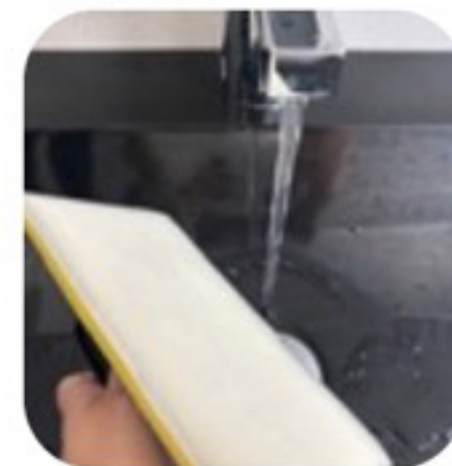
## 乾燥後



# 05 洗浄方法

## 【項目】

- ①刷毛面を水洗いする
- ②保管方法



## 詳細

①使い終わったら、職人技とトランスフォームは、水洗いして保管する。洗わず放置すると、刷毛面が硬化し繰返し使用できなくなる可能性があります。消耗品のため、傷んできたら交換時期です。

すぐにまた使用する場合、濡れたバットやタオルの上に刷毛を置き、刷毛面が乾燥しないように注意して保管する。

②取手を取り外せば、収納がコンパクトになります。刷毛部分が潰れないように注意してください。複数の刷毛がある場合は、刷毛面同士を合わせて、重ねて収納する。

# 職人技

実用新案登録済 3252065号



①刷毛が飛び出していない面の使用方法。

本来、養生が必要なコンセントプレート周りや窓、ドア枠に当てながら使用する。

②刷毛が飛び出ている面の使用方法。イリズミやクロスが少し反り返っていて、①では塗料がうまく入り込まない箇所に使用する。

③下部分のはみ出た刷毛の使用方法。壁紙の角（イリズミ）や天井の四隅など、塗料が入りづらい箇所に使用する。

# トランスフォーム

実用新案登録済 3252046号

シングルからロングサイズにする場合は、取手をスライドして替刷毛を組み合わせ、二つの刷毛を取手で固定します。

ネジをしっかりと締める。（再確認）刷毛パットを交換する際はネジを外す。

※強い力が加わると、取手がずれる可能性があります



カット面が『台形』になっている部分の使用方法。角に台形部分を合わせると、塗料が入りやすいです。また、刷毛面をペタッとしっかり壁につけて使用する。

注意ポイント！  
周りの『イエローのスポンジ部分』に塗料がついたまま施工すると、触れた箇所に、塗料が付く可能性があるため、塗料が付いたら都度、拭き取りキレイな状態に、保つことをおすすめします。

品名:室内壁紙専用塗料（水性塗料） 成分:合成樹脂、顔料、水、香料

【用途】ビニールクロス専用（特殊クロスや撥水等の特殊加工クロスは除く）

【保存期間】6ヶ月

【応急処置】直射日光を避け、常温で密封し保管してください。皮膚や髪に付着した場合は、水やぬるま湯で洗剤で洗い流し、炎症などが発生した場合は、医師の手当てを受けてください。誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。目に入った場合は、直ちに目を洗浄し、医師の手当てを受けてください。

【取り扱い上の注意】過去にアレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。汚れても良い服装で作業し、手袋や保護眼鏡を装着してください。塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。色表示は、中身の色と多少異なることがあります。塗り面積、乾燥時間は、塗る面の状態や塗り方、気象条件により、異なることがあります。乾燥後も、塗装面に衣類を強くこすると、色移りする場合があります。子供の手の届かない所で保存し、誤飲、誤食をしないよう注意してください。

株式会社HSP  
東京都府中市住吉町5-7-12 森田ビル302  
お問い合わせ info@x-paint.jp